

平成30年度 博多中学校 学校経営方針

福岡市立博多中学校
校長 堀澤 恵二

1 博多小・中学校教育目標

「博多の心」を受け継ぎ、21世紀に夢や希望を抱きながら生きる子どもの育成

2 学校教育目標

博多の伝統と心を受け継ぎ、世界に羽ばたく生徒の育成

3 校訓

「知」・・・切磋琢磨し、真理を追究する豊かな知性を

「仁」・・・礼節を重んじ、優しさと思いやりの心を

「勇」・・・健康な心身と正義を貫く勇ましい心を

4 本校教育の基本方針

- (1) 古い歴史と伝統文化の博多の心を受け継ぎ、「教育の姿勢は厳しく、教育の心は優しく、教育環境は美しく」の精神のもと、21世紀に夢や希望を抱き、世界に羽ばたける逞しい子どもを小中連携により育成する。
- (2) 家庭や地域社会、小学校との連携を図り、生徒・保護者・地域に開かれ、信頼される学校づくりを図る。
- (3) 学力の向上と生徒指導の充実という基本にたつて、学校づくりを展開していく。
- (4) 福岡スタンダードの取り組み。

5 めざす学校像・生徒像・教師像

○めざす学校像

- ①生徒・保護者・地域から信頼され・誇れる学校（**教育環境の整備**）
- ②生徒一人一人の夢が育ち、正義が通る安心・安全な学校
- ③基礎学力や生きる力を身につけさせ、進路を保障する学校
- ④生徒が活気に満ちた活動をする学校（**自尊感情**）

○めざす生徒像

- ①基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志をもち、心豊かにたくましく生きる生徒
博中スタンダード・・・『時を守り、場を清め、礼を正す』
博中当たり前10カ条・・・『当たり前のことを当たり前』
- ②自他を尊重し、思いやりと感謝の心にあふれた生徒（**感謝と信頼のある集団**）
- ③夢を抱き、その夢の実現に向け、ねばり強く挑戦する逞しい体力と精神力を備えた生徒

○めざす教師像

- ①いつも生徒とともに汗を流し、生徒の目標となる教師（**師弟同行**）
- ②全体の奉仕者として、使命を自覚し、その職責の遂行に務める教師（**率先垂範**）
- ③意欲的、かつ団結して仕事に取り組む教師（**組織の大切さ**）
- ④生徒を信じ、ねばり強く指導を繰り返す、温かさや厳しさのある教師（**毅然とした態度**）

6 本年度の重点目標

- ①教師自ら率先垂範し、師弟同行の徹底。
- ②基礎・基本の確実な定着と学習指導方法の工夫を図り、**博中スタンダード**
確かな学力の定着・向上
補充・発展的な学習
- ③いじめや不登校、問題行動等の防止に努めるとともに、**やまびこ指導**を行い、予防の生徒指導を
意識。（報告・連絡・相談の徹底）
組織力・一枚岩
- ④生徒会活動と部活動の活性化。
生徒会や部活動の姿勢を学級へ
- ⑤共通理解を基盤に据え、特別支援教育の充実
共生と思いやりの気持ちの育成

7 本年度の教育活動

(学力向上を目指し、教育課程・教育活動のさらなる充実に努める)

(1) 生きる力を育む学力向上の推進

- ①基礎・基本の定着を目指し、学習規律・学習態度の確立を図る。(今日のめあて、本時のまとめ)
- ②生徒の実態を把握し、指導の工夫改善を図り、生徒の意欲を引き出す授業の確立。
- ③朝学習の取り組みを充実させるとともに、家庭との連携支援をとおして、家庭学習の定着を図る。
(全職員による朝学習のTT, はかたよよいよいノートの充実・発展)
- ④指導力向上のため、授業研究を行い、校内・外の研修の充実に努める。
- ⑤立志式や啓発的体験学習(出前授業・社会人講話・職場訪問・体験等)をとおして自己実現を支援する。

(2) 積極的な生徒指導と教育相談の充実

- ①教師自ら率先垂範し、師弟同行の徹底。 『時を守り、場を清め、礼を正す』
- ②いじめや不登校、問題行動等の防止に努めるとともに、やまびこ指導を行い、予防の生徒指導意識。(報告・連絡・相談の徹底, 月1回のいじめアンケートの実施, QUアンケートの実施と活用)
- ③家庭や地域及び関係機関との連携を深めながら、組織的に対応する。
- ④体罰によらない指導の徹底を図る。

カウンセリングマインド・生徒の成長力を認め・理解・信頼する姿勢

(3) 豊かな心を育むために道徳教育の充実

- ①全教育活動において、道徳教育を意識する。
- ②ローテーション授業や指導方法の工夫・自作資料の開発を行う。
- ③鍛錬遠足(30km)等の体験学習をとおして、集団の規律や協力、責任、忍耐、奉仕の精神を涵養する。

(4) 人権感覚を高める人権教育の進化

- ①生徒の人権感覚を高め、人権に対する感性を育成する。
- ②教職員の人権教育研修の充実に努める。
- ③人権読本「ぬくもり」・「心のノート」等の人権教育資料の効果的活用を図る。

(5) 共通理解を基盤に据え、特別支援教育の充実

- ①特別支援教育の充実に努め、障がいのある生徒に対する理解を深めるとともに、共生と思いやりの気持ちを育成する。(特別支援学級の設置6年目)
- ②特別支援教育の全体計画及び特別支援教育に関する研修の推進・充実に努める。

(6) 新しいふくおかの教育計画(後期実施計画最終年)の推進・5つの重点

- ①確かな学力の向上。(夏休み期間の短縮や土曜授業の実施など)
- ②豊かな心、健やかな体の育成。
- ③地域の特性を生かした教育と国際教育の推進。
- ④不登校の子どもへの支援・いじめの未然防止の充実。
- ⑤特別支援教育の推進。

(7) 家庭・地域及び関係機関との連携

- ①PTA, はっぱの会, 4公民館, 青育連等との連携を強化し、地域の教育力を積極的に活用する。
- ②保護者やサポーター会議構成員の学校関係者評価等を学校改善に生かす。
- ③地域ボランティア活動, 博多祇園山笠など地域行事への積極的な参加を促す。

(8) 危機管理の徹底

- ①生徒指導, 登下校指導, 交通安全指導, 不審者対策, 災害時における危機管理に努める。
- ②施設設備の安全点検・管理(毎月1日点検日), 通学路の定期的な安全点検の実施。

【教職員訓】

師弟同行	率先垂範	報告	連絡	相談
定時・定位置	3つの訪問(手紙・電話・家庭訪問)			